

テーマ

## 未来を切り拓く子

目標

### 地域に誇りを持ち、地域を大切に作る心と態度を育てる

#### 今年度の取組紹介

飛鳥地区では、地域連携を大切にしながら子ども達の将来を見据え地域や家庭を大切に作る心を育てることを第一の目標に置いています。今、少子高齢化の問題等を抱える中、やはり地域行事の充実と災害に対する意識の向上が最も大切であると考え、二つ地域行事を行いました。一つ目は、飛鳥地区自主防災訓練です。内容は、地震の体験や災害時に備える土嚢づくり、そして消防署の指導による人工呼吸等です。普段経験できない貴重な体験を地域住民と共に勉強会を行いました。また、今回は、仙台市から被災経験の中学生が訪れ、震災後の体験を聞くことができたのと、飛鳥中学校の生徒達との交流の場もあり、本地域の将来を見据えた自主的な防災の取組ができたのではないかと考えています。二つ目は、第12回あすかフェスティバルの開催です。今や地域からの出店も数多く、催し内容も多岐にわたり年々来場者も増えてきました。地元和太鼓団体や市内の高校生によるダンスショー、また地域のボランティアによる様々な出店もあります。各ブースの手伝いを毎年中学生をお願いをしていますが、それらの活動を見た小学生達が「次、私たちがやりたい」と声を上げてくれています。これらの活動とおして「地域の為に何か貢献した」という達成感を感じてくれることができたのなら私たちの取組は、ますます地域の支えになるのではと信じています。



#### 今年度のまとめ

幼・小・中学校とも地域で触れ合う事業を積極的に展開しており、少しずつではあるがそれらの活動を支援することができました。今年度は、校区内にコミュニティ・カレンダーを配布し飛鳥校区のどこでどんな活動が行われているのか、少しでも多くの方に関心を持ってもらうことにも力を入れました。その効果もあり飛鳥フェスティバルや自主防災訓練への問い合わせが例年よりも増え、小学校及び中学校の創立記念行事に於いてもたくさんの人たちが訪れてくれました。「すでに子育ては終わったが何か学校に関われば」という声も聞かれ、これらの活動で学校の活動や地域の活動に目を向けてくれる人が増えてきているのはうれしい便りだと思っています。

#### 来年度に向けて

今、地域防災力を高める取組を行っていますが、年1回の取組だけでなく災害時の避難経路を確認したり危険区域を把握したり、それらの活動を地域住民にも知らせていきたいと考えています。また、民生委員との協力で独居老人に対しての支援策を模索し、今後の取組も含めて地域の防災力を高めていきたいと思っています。

テーマ

## 飛鳥大好きプロジェクト (ADP)



目標

### 地域と関わる学びの中から地域を大切に誇れる生徒を育てる

#### 今年度の取組紹介

飛鳥大好きプロジェクトの取組も今や生徒たちに定着してきて地域の方たちを含めた交流も学校行事の一つとなってきました。その中で一番力を入れたのは学校力向上事業であり、中でも30周年企画です。計画当初から幅広い方々に企画や運営をお願いし、様々なアイデアを出しあいながら進めてきました。校内でのバザー計画や各イベントの企画などです。そして学校オリジナル、ゆるキャラの誕生により、この奇抜なアイデアが生徒や教師、そして地域の心を捉え、とても楽しいイベントの開催となりました。また、地域の方を含めて行った熟議があります。小中一貫をとおした校区の子ども達をどう育てるか、あるいは災害時を想定してAEDや人工呼吸の方法などの研修も行いました。この取組は、学校教育に高い関心を寄せてもらう機会となり職員・地域間のつながりが深まったと思われまます。さらに防災教育推進事業に関わっては、仙台市の中学生との交流により生徒会を中心に意識の向上がみられました。「自分たちに出来る防災力とは何か」ということを考慮し、避難訓練の在り方や校内の危険個所のチェック、人通りの多い廊下のガラスに飛散防止シートを張る等の提案が上がってきました。シートを張り付けることを行うまでに成長してくれました。



#### 今年度のまとめ

今年度は、周年行事の開催もあり、地域の方とのふれあいがとても多い1年でありました。飛鳥の自然に関わった話を聞く自然教室も定着し、夕べのコンサートも地域一体となる取組になってきました。そして周年行事に於いては、卒業生の保護者をはじめ学校を取り巻く多くの方たちに支えてられ30周年の歴史を祝う盛大な行事となりました。地域の大人たちとの関わりは、生徒たちにとっても学びの機会であり地域の活性化につながる事業だと感じています。中学生の活躍と地域の役割が、少しずつ各事業をとおして実を結びだしています。

#### 来年度に向けて

ゆるキャラの登場により、生徒も教員も新たな意識を持ち始めており、オリジナル製品の拡大、更なる有効活用を考えていきます。また、防災教育について生徒達から積極的な提案をもらっていることから各関係機関との新たな連携を見据え、地域にも発信していきたいと考えます。また、仙台市との中学校間交流は継続して行う方針で、今後も防災力を高め合う努力をしていきたいと考えます。

テーマ

**人との出会いを生かして、人から学ぶ飛鳥っ子事業**

目標

飛鳥校区に生まれ生活している子ども達が、地域や保護者の協力を得ながら、自分の街を再発見し、地域に誇りを持ち、地域を大切にしていける契機とする。

**今年度の取組紹介**

昨年度より、小中一貫教育の柱として、キャリア教育に取り組んできました。キャリア教育を進めていく上で重要となってくるのが人との出会いです。そこで、地域、とりわけ校区にお住まいの方々をゲストティーチャーに迎えての取組を大切にしたら結果、児童は様々な仕事や職業を身近に捉えることができ、地域に誇りをもつことへとつながりました。

**校区交流事業・・奈良ホテル（ソムリエの方を招いて）**

本校では、地域にお住まいの方にボランティアとして毎週水曜日に来校いただき「お話の会」を開催してもらっています。読み聞かせや、紙芝居、かるたなど地域の方々との触れ合いは、読書好きの児童を増やすだけでなく、コミュニケーションの力を高める場となっています。児童の多くは「お話の会」をととても楽しみにしており、今後も継続して取組を進めていきたいと考えます。

**校区交流事業・・お話の会（かるた大会）****今年度のまとめ**

校区は、元興寺や春日大社など世界遺産に隣接しており、古都奈良の素晴らしい歴史を身近に感じられ、校区にお住まいの方々も飛鳥小学校に対して好意的で協力的です。本校はこれらの特質を生かし、本年度は、本事業を活用して、多くの人との出会いを設定し、自らの生き方を見付ける取組を展開しました。例えば、上部に記載しているように、多くのゲストティーチャーを招聘した取組を増やしたり、10年来続けている地域の方々主催の「お話の会」を実施したりすることで、児童は、感動したり、共感したりすることで、自らの生き方を考えるようになりました。また、校区探検をはじめ校区に出掛ける経験を通して、地域に対する誇りを感じられるようになりました。

**来年度に向けて**

地域のよさ、とりわけ地域にお住まいの素晴らしいの方々との出会いは、児童の生き方に直接働きかける取組となります。今後も本事業を効果的に活用し、本校の研究テーマでもあるキャリア教育を推進していきます。また、今後は更に校区にお住まいの素晴らしい方々を発掘するとともに、ボランティアやゲストとして来校してもらえよう取組を進めていきたいと思ひます。

事業名

**生き生き活動する楽しい幼稚園**

目標

**心も体も弾ませて意欲的に活動する幼児の育成**

## 今年度の取組紹介

毎日、縄跳び体操をすることで、自分の目標に向かって挑戦する力や持久力が体力と共に育ってきました。11月の土曜参観で年少は縄跳び、年長はおんぶ騎馬戦をする中で親子で体の触れ合いをしながら楽しんで活動に取り組みました。また、年少、年長共通の親子活動として、親子リトミックを行い、父親や兄弟姉妹も参加し、音楽に合わせて体を存分に動かす心地よさを感じながら、親子で汗をかきながら体を動かしたり、楽しい会話をしたり、笑顔があふれていました。月1回“絵本貸出し”や、月2回“お話の会”や、また、こうした活動を重ねることで、親子同士親しく交流する姿が見られるようになりました。親子活動は未就園児親子登園『ぼっぼ組』対象においても実施し、6月には良弁杉のミュージカル絵巻、12月には人形劇、1月にはお話の会を、在園児と一緒に鑑賞することで、未就園児親子の園生活への期待も一層膨らみました。

広い園庭の除草作業に、夏休みの部活帰りに中学生が来てくれました。また、運動会のテントも張りに来てくれました。幼児たちは、中学生のお兄さんお姉さんの姿を見て、感謝の気持ちをもつとともに憧れの気持ちも抱いていました。こういった感情形成が、未就園児とのかかわりの中でやさしくかかわったり思いやったりする姿につながっていきました。地域の方との交流では、地域のあすかフェスティバルや敬老会に参加しました。演技を披露したり、お年寄りと一緒に歌ったり手遊びや昔遊びをしたりして楽しく遊ぶ中で、温かい笑顔と大きな拍手を頂きました。バルーン披露では大きな感激と感動を与えました。ふかしいもパーティーや作品展や音楽会、生活発表会などいろいろな行事に招待状を出し、たくさんの方が一緒に参加したり鑑賞に来てくださいました。こうした触れ合いを重ねることで地域の方々に対する信頼感や親しみの感情が生まれ、感謝や敬う気持ちも育ってきています。



## 今年度のまとめ

地域の方々への幼稚園教育に対する理解が一層深まり、地域の幼稚園として強い支援をいただきました。地域の方が、幼稚園に気軽に足を運んでくださるようになり、本事業で計画していなかったですが、地域の方から提案していただき、お餅つきやポン菓子体験もすることができました。子ども達は「青パトのおじちゃん」「〇〇さんのおばちゃん」など親しみをもって接する姿が多くなりました。

## 来年度に向けて

本年の事業を継続しながら新たな目標に向け、子ども達が心身ともに意欲的に活動できる環境構成をしていきたいです。また、親子活動の意義を理解していても、参加することを負担に感じている保護者の姿があります。進んで参加できる活動内容の工夫が必要であり、子どもの育ちが感じられるようにさまざまな発信をする必要があります。今後も、地域のさらなる協力を得て、園教育の一層の充実を図っていきたいと思います。